

健康ウォークやお接待

各地域会場でイベントにぎわう

別府八湯温泉まつり(大分合同新聞共催)は5日、各地域会場の催しや関連イベントがあった。浜脇地区温泉湯めぐり健康ウォークがあった。参加者はJ

R東別府駅を出発し、地図を頼りに共同温泉を探して約2キロの道のりを歩いた。道中、地獄蒸し卵やコーヒーマスターのお接待もあった。

別府市鶴見の池田明敏さん(35)は電車から見た浜脇



①地図を片手に共同温泉などを探す浜脇地区温泉湯めぐり健康ウォーク②漫画家のクニ・トシロウさん(左)と、似顔絵を描いてもらったインドネシアからの観光客③5日

の風景を気に入った長男篤朗ちゃん(3)の希望で参加した。「最近できたトンネルから歴史のある建物まで、新旧の街並みを楽しめた」と話していた。

クニ・トシロウさんが来場者の似顔絵と「まんが油屋熊八」を画用紙に描き、無料でプレゼントした。岡山県から来た女性は「よく似ている」と喜んでた。6日まで。

5日にスバビーチ上空で予定されていた、航空自衛隊の戦闘機F-2の飛行は悪天候で中止になった。



別府 油屋熊八 漫画にしよう

推進団体 PRコーナー開設



クニ・トシロウさん(右から2人目)が描いた似顔絵色紙を贈られた来場者

「別府観光の父」と呼ばれる油屋熊八の漫画化を目指す別府大客員教授で漫画家のクニ・トシロウさん(73)を支

援しようと、知人らが市民団体「まんが油屋熊八制作推進室」を立ち上げた。活動の第一弾として5日、別府市のJR別府駅に漫画化

をPRするコーナーを開設し、クニさんが描いた熊八の漫画や絵本のイラストを展示したり、先着30人に熊八や来場者の似顔絵をクニさんが即席で描いた色紙を贈ったりした。6日まで。

クニさんは学習漫画や歴史漫画の著作があり、「笑わせえるすまん」などのアニメの総監督も務めた。別府大教授時代に、別府観光を全国に売り込んだ熊八の功績を知り「マンガの主人公のような活躍が面白い」と感銘。功績や魅力を全国に発信して知名度を上げようと商業誌への掲載や単行本化などを計画し、賛同し

た同市の会社経営、後藤俊介さん(30)らが推進室をつくった。今後、出版社や行政などに漫画化や漫画の活用を要請するほか、熊八の絵本制作も検討している。